

調査意見書

受理番号 107-121		学校 高等学校		教科 商業	種目 ソフトウェア活用	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
1	15	14 - 16	MaaSとは、情報通信ネットワークを活用して、自家用車以外の移動を効率よく利用できるシステムのことで、アプリケーションソフトウェアで利用できるサービスのことである。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「自家用車以外の移動」「アプリケーションソフトウェアで利用できるサービス」)	3-(3)	
2	25	右下図	●ホットスタンバイ 「電源ONでスタンバイ」 ●コールドスタンバイ 「電源OFFでスタンバイ」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「電源ONでスタンバイ」「電源OFFでスタンバイ」が動作か状態かがわからない。)	3-(3)	
3	35	上表	Sports.com (2か所) 以下 42ページ 中表, 下表, 下図 43ページ 右下の同表現	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
4	94	グラフ	横軸 個数 (個) 0 5,000 10,000 … 縦軸	生徒にとって理解し難いグラフである。 (縦軸 (金額) と横軸 (個数) が同じ値である。)	3-(3)	
			金額 (円) 0 5,000 10,000 …			
5	100	10 - 11	回帰式と呼ばれる「 $y = ax + b$ 」という一次方程式の形であらわされる。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (式と説明変数, 目的変数の関係がわからない。)	3-(3)	
6	114	28 - 29	「開始時刻」は、利用者が並んでいない場合、「到着時刻」(C7)となり、利用者が並んでいる場合、前の利用者の「終了時刻」(E7)となる	生徒にとって理解し難い表現である。 (番号1 (A7) の利用者と番号2 (A8) の利用者の「開始時間」の説明が混在している。)	3-(3)	
7	134	17	⑤ クエリの作成 (→p. 141) テーブル内のデータの抽出表示, 結合, 集計などを行う。	相互に矛盾している。 (p. 141では集計を扱っていない。)	3-(1)	
8	177	19 - 20	SELECT 文のなかにSELECT 文を記述することを副問い合わせ (サブクエリ) という。 29～31行	不正確である。 (副問い合わせになっていない。)	3-(1)	
			例題4-38 IN句による副問い合わせ1 SELECT 商品コード, 商品名 FROM 商品 WHERE 商品コード IN ("RS103", "RS104");			

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 107-121		学校 高等学校		教科 商業	種目 ソフトウェア活用	学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定	
	ページ	行					
			178ページ 17～19行目 例題4-40 NOT IN句による副問い合わせ SELECT 商品コード, 商品名				
			FROM 商品 WHERE 商品コード NOT IN ("RS103", "RS104");				
9	179	側注	補足 商品コードや数量など主キー以外の値 を省略する場合は,	不正確である。 (4章5節では商品コードは主キーになっている。)	3-(1)		
10	234	下図	1人目の通学時間30 > 最大0 → 最大30 2人目の通学時間45 > 最大30 → 最大45	相互に矛盾している。	3-(1)		
			双方に色がついている場所				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調 査 意 見 書

受理番号 107-122		学校 高等学校		教科 商業	種目 ソフトウェア活用	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
1	iii	3	Information and Communication Technology	誤記である。	3-(2)	
2	8	下囲み	④D14に次の式を入力し、… =SUM(C\$14:C14) (以下 側注 手順④においてはD14に 「=SUM(\$C\$14:C14)」を入力し)	相互に矛盾している。	3-(1)	
3	51	中図	③コピーして「End Sub」の下に貼り付け End With (間に赤い引き出し線)	相互に矛盾している。	3-(1)	
			End Sub			
4	58	側注1	…、DBMSはその問題の発生をどのように防いでいるのか、ということについては、第2章1節で学習する。	生徒にとって理解し難い表現である。 (この側注があるのも第2章1節)	3-(3)	
5	126	中	問② (2)テーブル名「利用内容」の人数が、「2」から「4」までの「予約ID」と「コース」を抽出する。 …	相互に矛盾している。	3-(1)	
			WHERE 予約日 [②] 2 [③] 4			
6	171	12	A列の「予約ID」 (以下 図表3-1-26 セルA2 予約番号)	表記が不統一である。	3-(4)	
7	172	4	A18～C21の「コース名」と数量 (以下 図表3-1-27)	相互に矛盾している。 (セルの範囲)	3-(1)	
8	172	上囲み	手順 ②…D18に次の式を入力してA27までコピーする。 (以下 187ページ手順②)	誤記である。	3-(2)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調 査 意 見 書

受理番号 107-122		学校 高等学校		教科 商業	種目 ソフトウェア活用	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
9	189	図左上	流れ図 日付=受付表のセル(UGyo, 3) (以下 188ページ流れ図 Yhiduke→セルB3)	表記が不統一である。	3-(4)	
10	290	上囲み	例題5-2-4 例題5-2-2のシステムの稼働率を計算 してみよう。 $47/(47+3)=0.94$ 稼働率は、0.94となる。	相互に矛盾している。	3-(1)	
			(以下 289ページ 上 平均故障間隔は、43時間となる 下 平均修復時間は、7時間となる)			
11	290	側注	p.289の例題5-2-2では、運用時間は「 $36+4+20+2+38=100$ 」、稼働時間は「 $36+20+38=94$ 」であり、ここから稼働率を「 $94 \div 100=0.94$ 」と求めることもできる。	相互に矛盾している。	3-(1)	
			(以下 289ページ 例題5-2-2 62時間 6時間 24時間 8時間)			

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。